

1 題材設定の理由**活動内容・項目**

主たる内容・項目

- イ 健康や安全に関すること
心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること
自主的な学習態度の形成

関連する内容・項目

- ア 個人及び社会の一員としての在り方に関すること
自己及び他者の個性の理解と尊重
学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること
学ぶことの意義の理解

題材設定の背景及び生徒の一般的な実態と現状

長かった2学期も終わりに近づき、冬休みを目前にして気の緩みがちな生徒も見られる。また、冬休みは期間が短く、年末・年始の慌ただしい中にあるため、ともすると生活や学習のリズムを大きく狂わせ、3学期や新年のスタートにブレーキをかけてしまう生徒も出てくる。そこで、冬休みの有意義な過ごし方を考えさせ、健全で明るい冬休みを送ることができるように心構えや実践力をつけることをねらいとした活動が必要となる。

指導法・指導上の留意点

本プログラムでは、「さいころトークン」という自己開示のエクササイズを用い、話しやすい雰囲気の中で自分の考えを発表したり、友達の意見を聞いたりする活動をとおして、2学期を振り返り、3学期や新年の抱負をもち、冬休みの生活設計・学習計画に生かそうとする態度を養いたいと考える。

2 指導目標

中学1年生としての冬休みの意義を考え、具体的な生活設計や学習計画を立て、それに基づいて実行しようとする意欲と、3学期に向かう心構えをもつことができるようにする。

年末・年始という機会をもとに、家族の一員としての自分の在り方を考えることができるようにする。

3 指導計画**事前・事後指導**

事前指導 - 短学活；2学期を振り返っての思いや冬休みの取り組み等について自分の考えを書かせておく。

《本時》 - 学級活動；「有意義な冬休みにしよう」の授業を実施する。

事後指導 - 短学活；冬休みの目標、新年の抱負を教室に掲示し、冬休みや新年への意欲的な取組みを喚起する。

4 指導案 指導過程

本時のねらい	さいころトークで自分の思うことを伝えることができる。 冬休みの目標と新年の抱負について考えをまとめることができる。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (5分)	1 本時のねらいを理解する。 ・学級担任から本時の活動内容とさいころトークについての話を聞く。	教師もさいころを転がし、出た目に関する話をする。和やかな雰囲気づくりに努める。モデリングが終わった段階で、ルールの確認をする。	さいころ トーク1用シート 【評価1】
展開 (30分)	2 グループ(5人程度)をつくり、トーク1を行う。 グループ内で、話をする順番を決める。 さいころを振り、出た目に関する話をする。(1人30秒程度、相手の話が終わったら拍手をする) 順番に を行う。2周りするまで行う。(2回目に同じ目が出た場合は、振り直すことができる) 3 トーク2を行う。やり方は2と同じ。 4 トーク2の中で、一番心に残ったものについて、グループ内で話し合い、代表者が発表する。	トーク1は、エクササイズに慣れさせるために行い、自己開示の浅めの内容とする。 1 ; 好きな食べ物 2 ; 好きな歌手 3 ; 最近ハマっていること 4 ; 好きなテレビ番組 5 ; 行ってみたい場所 6 ; 好きなスポーツ選手 早く話し終わった場合は、話した内容についての質問などをしてもよいことを確認する。 トーク2は、本時の目標に関わる内容とする。 1 ; 学習面で思うこと 2 ; 生活面で思うこと 3 ; 係活動面で思うこと 4 ; 冬休みにやりたいこと 5 ; 年末・年始の仕事 6 ; 来年やってみたいこと 話し合われた内容を全体で共有する場をもち、個人に生かせるように配慮する。	さいころ(各班1個) トーク1用シート(各班1枚) 【評価2】 トーク2用シート(各班1枚) 【評価2】
まとめ (15分)	5 冬休みの目標と新年の抱負を考え、ワークシートに記入する。 6 振り返りカードに、今日の授業で考えたこと、感じたことを記入する。	今までの反省をもとに、気持ちを新たにして考えさせる。 記入時の様子や内容をもとに、アフターケアの必要な生徒がいないか把握する。	ワークシート 【評価3】 振り返りカード

評価計画(評価の観点)

評価1 関心・意欲	さいころトークの方法を知り、意欲的に取り組もうとしているか。
評価2 表現・技術	自分の考えを話すことができたか。話を聞くことができたか。
評価3 思考・判断	友達の話を聞き、自分の目標設定に生かすことができたか。

5 プログラムの展開例

活動場所 教室

準備物 事前調査、配付資料(トーク1・2)ワークシート、振り返りカード

導入 (5分)

1 本時のねらいを理解する。



来週で2学期も終わりですが、皆さんはどのような冬休みにしたいと考えていますか。

今日は、さいころトーキングという方法を用いて2学期を振り返ったり、冬休みの目標を立てたりしたいと思います。

* 教師のモデリング；さいころを転がし、出た目に関する話をする。

まず、先生がやってみます。(さいころを転がして)「5」の目が出たので、「行ってみたい場所」について話します。

* ルールについても、確認しておく。

トークは2まわりするまで行います。早く終わった班は、聞いたことをもとに質問してもいいです。2回目に同じ目が出た場合は、1度だけ振り直してもいいです。

展開 (30分)

2 グループ(生活班)になり、トーク1を行う。



最近、はまっていることは、・・・



好きな歌手は、・・・



好きなテレビ番組は、・・・



3 トーク2を行う。

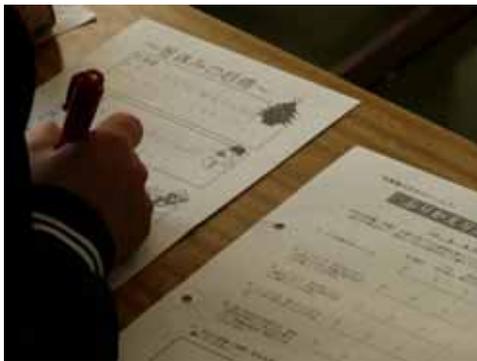
- 1 学習面で思うこと
- 2 生活面で思うこと
- 3 係活動面で思うこと
- 4 冬休みにやってみたいこと
- 5 年末・年始の家庭内での仕事
- 6 来年やってみたいこと



4 心に残ったことをグループ内で話し合い、代表者が発表する。

まとめ (15分)

5 冬休みの目標と新年の抱負を書く。



6 振り返りカードに記入する。



6 生徒の反応（「振り返り用紙」等から）

3学期や新年の抱負をもち、冬休みの生活・学習に生かそうとする例

- ・ 新年に向けて、がんばることがたくさんあることがわかり、それを目標にして楽しい生活を送れるようにしたい。
- ・ 最初はどのような感じになるのかなと少し心配だったけど、実際やってみたら結構面白かった。みんなの話聞きながら、今日話したことをちゃんと行動に移さなきゃと思った。
- ・ 今日の活動をとおして、冬休みの中で自分が少しでも成長しているといいと思う。
- ・ 楽しく、有意義な冬休みにしたいと思った。
- ・ さいころを使う話し合いの方法も楽しかったし、話の中で互いの気持ちや冬休みの過ごし方などを話し合っ、自分もしてみたいなあというものが見つかってよかった。

他者理解が深まった例

- ・ グループのみんなの気持ちや冬休みにやってみようと思ったことがよくわかった。
- ・ 友達のあまり知らないことを、テーマをもとに話し合うことができた。また、その友達のことをもっと知ることができてよかった。
- ・ 同じテーマでも一人一人の意見が違った。いろいろな考えを知ることができてよかった。構成的グループ・エンカウンターを取り入れた授業への興味・関心
- ・ さいころ式のやり方がとても楽しかった。また、班活動だったので、とても楽しく、友達の意見も聞くことができ、よいことづくめだった。
- ・ 今日の活動も、前回の活動と同じくとても楽しかった。友達のことについて色々わかったし、自分についても知るよい機会となった。
- ・ みんなと楽しく活動することによって、自分のことや反省しなくてはいけないところなどがわかったので、いい活動だったと思う。

自己開示に抵抗感をもった例

- ・ 自分の考えを言うときに言いづらくて、きちんと発表することができなかった。

7 授業者の感想（授業改善の視点から）

授業全般について

- ・ 授業を実施した各担任からは、「場面かん黙の傾向にある生徒も、今日の活動ではとてもいい表情で参加し、具体的な目標を立てることができた」「どの生徒も楽しく取り組んでいた。もっとやりたいと生き生きしていた」「男女別グループで行ったことにより、普段おとなしい生徒も発表できていた」「本気で話し合っている姿が見られた」等の感想が聞かれた。
- ・ 「学期に1回程度は実施したい」「年度始めの学級活動でぜひ実施してみたい」「他学年にも活用できる」といった意見も聞かれた。同時に、自己開示に抵抗を示した場合の対応や事後のケア等の重要性や、実施する上での約束事やルールの徹底も大切であることが確認された。

エクササイズ「さいころトークン」について

- ・ 自己表出・自己開示に関する活動であるため、「トーク2」に関する事前調査等を行い、生徒の状況を把握しておくことよい。今回の授業においても事前調査を実施し、「トーク1」から「トーク2」の展開が無理なく行われるように配慮した。
- ・ 楽しいだけの時間にならないように、「トーク2」と「冬休みの目標・新年の抱負」の間に担任の講話を入れ、冬休みへの意識付けを強化することも有効と考える。

その他

- ・ 授業だけでなく、普段からの人間関係づくりが大切であると感じた。また、予想以上に生徒たちは活発に活動していた。日常における取組みとして、この「さいころトークン」を学級会や生徒会の話し合い活動などに取り入れていきたい。

8 関連プログラム・参考文献等

参考文献

- ・ 「エンカウンターで学級が変わる Part 1～3 中学校編」 國分康孝監修（図書文化）
- ・ 「エンカウンターで学級が変わる ショートエクササイズ集 Part 1～2」 同上

学級活動事前調査

1年 組 番 氏名 _____

次の項目について、今思うことを書いてみよう。

(1) 今年を振り返って、学習面で思うこと

(2) 今年を振り返って、生活面で思うこと

(3) 今年を振り返って、係活動面で思うこと

(4) 冬休みにはぜひやってみたいと思うこと

(5) 年末・年始の家庭内での自分の仕事（どんなことをするか）

(6) 来年ぜひやってみたいと思うこと

【さいころトーキング】～トーク1～

1：好きな食べ物

2：好きな歌手

3：最近ハマっていること

4：好きなテレビ番組

5：行ってみたい場所

6：好きなスポーツ選手

【さいころトーキング】～トーク2～

- 1 : 今年を振り返って、学習面で思うこと
- 2 : 今年を振り返って、生活面で思うこと
- 3 : 今年を振り返って、係活動面で思うこと
- 4 : 冬休みにはぜひやってみたいと思うこと
- 5 : 年末・年始の家庭内での自分の仕事
- 6 : 来年ぜひやってみたいと思うこと

～ 冬休みの目標 ～

生活面



学習面



～ 新年の抱負 ～

生活面



学習面



